

9/13

県庁舎問題で公聴会
県庁舎整備について県民の声を聴く会



県庁舎移転建替問題についての公聴会が市コミセンで行われました。県庁舎については建物の老朽化や分散化などが問題となっており、かねてから移転・建替えが検討されてきました。この公聴会は、論議が続く県庁舎問題について県民の意見を聞こうと県議会が県内5か所で開催したもので、この日は県央地区を

対象に大村市、諫早市、東彼杵町、川棚町、波佐見町などから約300人が参加しました。公聴会では県側から現庁舎が抱える課題や新庁舎の整備方法、これまでの経緯などを説明したあと質疑応答が行われ、参加者からは新庁舎建設にかかる財政面についての質問や、大村市を含めた県央地区に建設すべきといった意見がありました。

9/21

地域での支えあいの実現を目指して
黒木小学校校区住民懇談会「みんなでしゃべろう」

地域に住む子どもから高齢者まで幅広い年代の皆さんが集まって、みんなが安心して暮らせる地域づくりについて話し合う住民懇談会が、黒木町の菅瀬ダム記念会館で行われました。

懇談会には地域住民など55人が参加。グループに分かれて和気あいあいと地域の課題やその解決策などを話し合い、発表しました。

9/22

大村市初の4年制大学の開校に向けて
活水女子大学看護学部校舎起工式



この懇談会は、本市が平成22年度までに策定を目指している「地域福祉計画」のために、住民の皆さんの生の声を聞く集まりの第1回目として開催しました。今後、小学校区ごとに順次開催を予定しています。



大村市初の4年制大学となる活水女子大学看護学部校舎の起工式が、建設予定地の国立長崎医療センター（久原2丁目）内の敷地で行われました。看護学部の開設は県内3番目で、県央・県北地区では初めてとなります。

同学部は、約6,424㎡の敷地に鉄筋コンクリート造4階建ての校舎を建設、礼拝堂を兼ねた大講義室や各種看護実習室、研究室などを設置し、外観は長崎市東山手の同大学校舎にあわせて赤いトンガリ屋根のデザインを予定しています。

秋の全国交通安全運動 9月21日～30日



飲酒運転根絶・交通安全街頭キャンペーン



交通安全総点検

「思いやり若葉へ紅葉へ歩行者へ」をスローガンに秋の全国交通安全運動が展開され、期間中、各種行事が実施されました。

9月24日には、向陽高等学校前の路上で「飲酒運転根絶・交通安全街頭キャンペーン」が行われ、ドライバーにチラシやガムなどを配りながら交通安全を呼びかけました。

また25日には竹松地区で「交通安全総点検」が行われ、地元住民など約60人がJR竹松駅周辺の道路を歩きながら危険箇所や改良が必要な場所などを点検しました。参加者からは、「歩道に電柱や信号支柱が立てられていて通行に支障をきたす」「側溝蓋にすき間や段差があり歩きにくい」などの指摘がありました。これらについては今後、道路管理者と警察、地元住民などが協議しながら改善策を検討していきます。

なお、交通安全運動期間中、市内では10件の交通事故が発生し、また今年に入って3件の交通死亡事故が発生しており、今後とも注意が必要です。

振り込め詐欺にご注意!

今年に入って「振り込め詐欺」による被害が多発しています

大村警察署生活安全課によると、全国の被害は8月末現在で認知件数が約1万5千件、被害総額が約214億円にのぼり、いずれも前年同期比で約1.5倍と急増。被害は過去最悪のペースで推移しており、1億円近くが毎日、被害にあっている計算になります。県内でも同様に増加傾向にあり、9月末現在で認知件数230件、被害総額約2億7千万円。市内では9月末現在で、「架空請求詐欺」が1件、「融資保証金詐欺」が5件で合計6件、約550万円の被害が発生しています。「振り込め詐欺」には次のパターンがあります。



「オレオレ詐欺」親族などを装って電話をかけ信じ込ませて、事故や事件などの示談金をだまし取る手口で、被害者の多くは50歳以上
 「架空請求詐欺」公的機関を装って、ハガキなどにより架空の事実で現金を請求しだまし取る手口で、被害者の多くは30〜40歳
 「還付金詐欺」社会保険事務所や税務署などを名乗り、還付金があるように信じ込ませ他の口座へ現金を振り込ませる手口で、被害者の多くは50歳以上
 「融資保証金詐欺」ダイレクトメールやチラシなどで融資を勧誘して保証金を名目に現金を振り込ませる手口で、被害者の多くは40〜50歳

振り込め詐欺撃退の合言葉

- お おちつく
- む むすめ、むすこに確認する
- す すぐに振り込まない
- び びんそくに届け出る



共通した対処方法は、ひとり判断せず、落ち着いて、家族や警察などに相談することです。「振り込め詐欺」に関する警察への相談件数は、8月末現在で県内で約1,640件、市内で108件。この人たちが誰にも相談していなければ、被害はさらに拡大していたかもしれません。

不審に思ったら
警察へ届け出ましょう。

被害防止対策キャンペーンを実施

急増する振り込め詐欺被害に対し全国的に10月を強化月間として各種取り組みが行われる中、市内でも10月6日、大村警察署や市役所など関係団体が参加して「振り込め詐欺被害防止対策キャンペーン」が実施されました。参加者たちは市役所から市浄水管理センター前までを車両10台でパレードしたあと、同センター前の路上で被害防止対策のパンフレットなどを行き交うドライバーに手渡し、振り込め詐欺に対する注意を呼びかけました。



五菱会ヤミ金融事件の被害に遭われた皆さんへ

暴力団「五菱会」によるヤミ金融事件の被害に遭われた人を対象に、「被害回復給付金を支給する手続き」の申請を受け付けています。

提出先 五菱会事件被害回復センター
(東京都千代田区霞が関1-1-1中央合同庁舎6号館B棟1階)

支給申請期限 平成21年1月26日(月)

五菱会ヤミ金融事件に関するヤミ金融業者は、判明しているだけで約400社あります。東京地方検察庁のホームページでは、ヤミ金融業者のリストや使用していた振込口座のリスト、また手続きの詳細な内容も掲載しています。

問い合わせ 五菱会事件被害回復センター ☎03 (3595) 1201